

Navi

- ① 働く全ての人の健康と安全を支える — 保健師の仕事 —
- ② 消化器内視鏡による消化管がんの診断と治療

— 内視鏡医の仕事 —

Vol.

190

2024.10

①『働く全ての人の健康と安全を支える』

— 保健師の仕事 —

藤吉奈央子(保健師・公認心理師・両立支援コーディネーター)

■ざっくりした仕事のご紹介

ベース：公衆衛生看護（人々の健康の保持増進や生活を守るための活動）

フィールド：“働く人”を対象にした“産業衛生”（保健師の中でも少数派）

働き方：フリーランスを経て開業（業界でも少数派）

目指したい未来：健康情報（サポート）で格差の解消！

■高校卒業後の進路

大阪赤十字看護専門学校で看護師免許を取得

⇒大阪赤十字病院 精神科閉鎖病棟で看護師として勤務

⇒予防医学に関心を持ち、保健師を目指すために大学に編入し保健師免許取得

⇒保健師として大企業で勤務（製造業3年・金融業9年）& 研究生として大学へ

⇒中小企業での健康支援が気になり2016年独立・開業

⇒2017年 博士号修了

■仕事への思い

最初に…企業で産業衛生を担う産業医は法律によって定められていますが、保健師は定められていません。また私のような企業で活動する保健師はほとんどが大企業に雇用されています。日本人の約7割が中小企業で仕事をしていると言われる現状の中で『働く人の健康を守るサービスがある一部の恵まれた人のものであるのはおかしい』という思いから、企業に応じた時間や内容で委託を受けて活動するため、独立しました。

■具体的な仕事の内容

今は20人の小さな工場から3000人規模の大企業まで業種や企業規模は様々ですが、顧客である企業にとって無理のない契約を行い保健師として活動しています。2022年から法人化し、現在は仲間と活動を展開しています。

また厚生労働省が“がん治療と就労の両立支援”を掲げています。そのご縁で2017年から大阪のがん拠点病院で働く世代ががん治療を受けながら働き続けるための相談事業を行っています。また経営者や人事担当者向けの両立支援を行うための研修なども行っています。

■喜びと悩み

喜び

多様性が求められる中で、いかにその人らしく働か（生きるか）…について個人だけでなく、組織に対しても支援を行う事に遣り甲斐を感じています。

具体的には、保健師は集団も対象にしますので企業の健診結果データを分析し、問題を洗い出し全体へアプローチする対策を立てること、がん患者さんから仕事を続けることの相談で、“お話しして少し光が見えた気がします”と言われることなどに喜びを感じます。

悩み

実際私のような活動に意識を傾けてくれるのは健康意識の高い経営者か、困っている経営者のどちらかです。自分たちの未知の部分になかなか関与できていない現状にはもどかしさを感じます。そういう意味では非正規で働く人たちの健康を守るために何ができるか…も課題です。

■最後に

私は中学・高校の頃より、そのあとの看護学生の時と社会人になってからの方が、はるかに勉強しています。その理由は働きながら自分がやりたいことが明確になってきたからです。

組織に所属しながらでも、私のように個人で活動するにしても、形に捉われずに自分がやりたいことをやるために、私は『実績』『資格』など他者に認められるものが非常に重要だと思っています。また同じくらい“何歳になっても枠に縛られない事、諦めない気持”も必要です。

私はたまたま、高校生の時に看護の道に進みたいと思いましたが、やりたいことが見つからなくても、目の前の事に実直に向き合う事で見えてくるものもあるし、いつでも軌道修正も可能です。Try & Errorで頑張ってください(^^) /



② 消化器内視鏡による消化管がんの診断と治療

— 内視鏡医の仕事 —

清教学園保護者(大阪国際がんセンター消化管内科 医師)

今回は医師のうちの消化器内視鏡医、特にがんの診療を専門とする内視鏡医の仕事について紹介します。

口から食べた食べものは食道・胃・小腸・大腸とよばれる消化管(チューブ状の臓器)を通して、栄養分が吸収されたのちに大便となって肛門から排泄されます。消化管の内側を覆う粘膜は時に異常に増殖して、「がん」が発生します。がんは小さい時にはあまり悪いことを起こしませんが、放っておくとどんどん大きくなって出血したり、正常なからだのはたらきを障害することで、人間を死にいたさせます。

昔はこのような身体の中で起こっている変化を直接目で見ることはできませんでした。しかし、1950年頃から軟らかい棒の先端に小型のカメラを組み込んで消化管の中を観察する「内視鏡」が開発され、消化管粘膜に発生したがんを目で見て診断することができるようになってきました。最新の内視鏡では小型のビデオカメラが先端に内蔵され、見ている粘膜の変化を精細なテレビスクリーンに映し出して観察できるようになっています。さらに最新の内視鏡は虫眼鏡のように粘膜の表面を拡大して観察することができるため、普通に見ただけでは分かりにくいような病変を正確に発見し、がんかどうかを区別することができるようになってきています。

そのような内視鏡機器の発展に伴って消化管のがんを小さいうちに発見して、大きく進行する前に治そうという取り組みが積極的に行われるようになってきました。当初、そのようにして早期に発見されたがんを取り除く治療法としては、身体の外からお腹を切開してがんができた消化管を切除する外科手術しかありませんでした。しかしそのような方法だと、がんだけでなく栄養を吸収す

る臓器までも切除するため、手術後は十分な量の食事が食べられずに栄養不足で苦しむ患者さんがたくさんいました。1990年代になると早期に発見されたがんを内視鏡で切除できる方法が開発されるようになります。最初の頃は小さながんしか切除することができませんでしたが、最近では内視鏡や高周波電気メス装置などの機器の進歩と技術の改善によって、最近では5 cmを越えるような大きながんまで切除が可能となってきています。内視鏡による切除では消化管がそのまま残るため術後も治療前と全く変わらない食生活を送ることが可能です。

消化器内視鏡医はこのような形でがんの診療に係わることができる職業です。がんを早期に発見して早期に治療できることで患者さんに感謝されるだけでなく、新しい機器や技術の開発によりこれまで治療できなかったようながんを自分の手で治療できるようになることは大きなやりがいとなります。





職業を調べよう!

仕事を選びに迷ったらまずはこのサイトを見てみよう。

職業情報提供サイト(日本版O-NET)(愛称: job tag(じょぶたぐ))

<https://shigoto.mhlw.go.jp/User>



職業情報提供サイト(日本版O-NET)(愛称: job tag(じょぶたぐ))は、「ジョブ」(職業、仕事)、「タスク」(仕事の内容を細かく分解したもの、作業)、「スキル」(仕事をするのに必要な技術・技能)等の観点から職業情報を「見える化」し、求職者等の就職活動や企業の採用活動等を支援するWebサイトです。

まだ就業経験のない方や再就職先を探している方が、どんな職業があるのかいろいろな切り口から探したり、その職業ではどんな仕事内容・作業が一般的に行われ、どんなスキルや知識を持った方が働いているのか調べたりすることができます。

皆様のご職業・仕事内容を紹介して下さい!!!

執筆して頂ける方がいましたら、以下にご一報下さい。

お問合せ 〒586-8585
河内長野市末広町623 清教学園中高等学校内グリーンルーム(PTA室)
TEL・FAX 0721-62-4406 ✉ pta@seikyo.ed.jp



清教生徒のきみたちへ
—さまざまな職業との出会いを—
発行: 清教学園PTA